

今号の作業

左グリップを組み立てる



今号では「左グリップ」を組み立て、ハンドルバーに取り付ける前準備を行う。グリップの基部は組み立て済みなので、作業に手間取ることはないはずだ。また、グリップの基部には小さなスイッチが組み込まれている。ダミーではあるが、実車と同じように動くことを確認しておこう。

今号のパーツ



- ①左グリップ×1
- ②グリップラバー×1
- ③グリップキャップ×1
- ④ビス(Gタイプ)×2
(※1本は予備)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

使用する道具

・ロングタイプドライバ

用意するもの

・ビニール袋(パーツが入っていた袋で可)
・油性ペン

STEP 1



まず、①左グリップの各部をチェックする。レバーが動くこと、写真で示した基部の2つのスイッチ(ボタン、L/Rのスイッチ)が動くこと、グリップ軸の付け根部分に四角い突起があることを確かめておく。

STEP 2

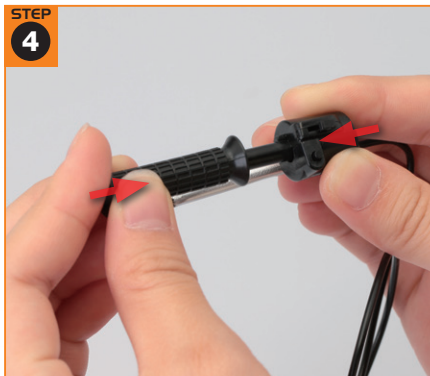


次に②グリップラバーの形状を確認する。グリップラバーは中心部に穴が通っている。片側には写真のように四角いくぼみがあるので、それを確認しておこう。

STEP 3



グリップラバーと左グリップを写真のように持ち、グリップラバーのくぼみに左グリップの突起を合わせてセットする。



STEP
4

グリップラバーの中へ、左グリップの軸部分をゆっくりと差し込む。くぼみの突起の位置がずれないように注意しよう。



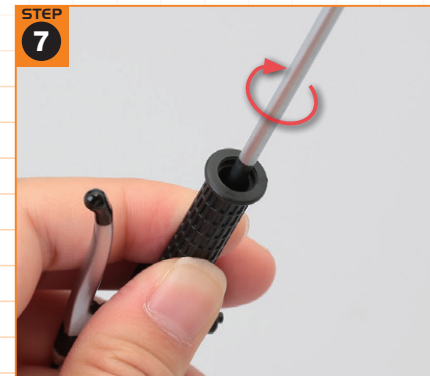
STEP
5

グリップラバーをしっかりと押し込んで、左グリップの基部を密着させる。



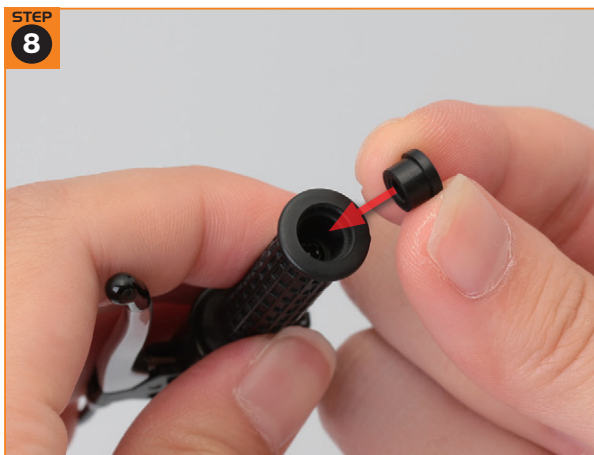
STEP
6

④ビス(Gタイプ)を用意し、グリップラバーの端に設けられた穴へセットする。



STEP
7

ロングタイプドライバーを使い、セットしたGタイプのビスをねじ込む。



STEP
8

③グリップキャップを用意し、グリップラバーの端の穴に写真の向きでセットする。



STEP
9

グリップキャップをしっかりと押し込む。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。10号で組み立てたフロントフォークを用意すれば、ハンドルバーの左側に組み立てたグリップを取り付け、装着状態を確認することもできる。ただし、現状のフロントフォークはメインフレームに取り付けられていないため、グリップを付けたままで保管すると、クラッチレバーなどを破損してしまう恐れがある。保管するときは必ず取り外し、油性ペンで号数を記載したビニール袋に入れるようにしよう。